

名古屋 強含み様子見で週替わりの公算へ

(名古屋) 名古屋地区の鉄スクラップ市況は強含みを維持したままで週替わりの公算ではと見られている。

地区電炉メーカーは今月2回(3日、13日)の購入価格改定で計1,000円(新断1,500円)見当の上げを実施してH2実勢値3万6500~3万7500円どころ中心に、上値3万8000円どころとしている。

いずれも、東京製鉄田原工場の値上げに歩調を合わせる形での上げであるが、電炉各社の生産増による購入量の増加で、引合いが強いことが市況を下支えする格好にある。

海外市況の続伸もあり、輸出市場は東・東南アジア

新断バラの市中値持込み38.5~39.5どころへ1.0方上伸して強含み

(名古屋) 新断バラの市中値は13日からさらに1,000円方の上げが一巡しており、なお強含みで週明けに向かうものと見られている。業者ヤードの仕切り値は、持込み3万8500~3万9500円どころ(16日現在)。

東京製鉄田原工場13日からの500~1,000円上げに、地区電炉他社の大半が追随上げへ動いたためである。実勢値は4万500~4万1500円どころ中心に、上値は4万2000円どころへ上伸している。

15日の「第15回レアメタル資源再生技術研究会」に100名

(名古屋) レアメタル資源再生技術研究会は15日、名古屋市工業研究所で「第15回レアメタル資源再生技術研究会」を開き約100名が参加した。

今回は「国際資源リサイクルと国内の資源・リサイクル政策」をテーマに東京大学大学院工学系研究科藤田豊久教授の「国際リサイクルに関するCR3」、経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部鉱物資源課大東道郎課長の「鉱物資源政策の動向」、経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課高角健志課長の「資源循環政策を巡る最近の動きについて」、日本アルミニウム合金協会安田浩司専務理事の「アルミニウム関係のリサイクル」、ユミコアジャパン松島緯央マネージャーの「ユミコア社の電池から電池への資源循環への取り組み、

貴金属リサイクルについてのご紹介」の5講演が行われた。

この中で大東氏は「今後次世代自動車の普及とともに必要となる資源

からの買い姿勢が強まっている。為替の円高が足枷とも見られているが、先の関東鉄源協同組合の輸出入札は前回比2,770円高いH2FAS価格平均3万7520円で2万トンが落札されている。東京製鉄田原、宇都宮はこれに反応する形で13日から500~1,000円上げを実施している。東日本電炉各社は即これに追随して購入価格の引上げが広がっている。

東鉄田原には週明けにも米国産シュレッダー2万トンが入着し荷揚げ作業が開始されるものと見られており、今週の市況は強含みながらも様子見対応ではとの見方である。

発生は自動車の生産堅調で上向いているが、大口消費先である特殊鋼メーカーの需要増に加えて、普通鋼電炉筋の生産レベルも高いことで需給関係は引締まったままである。

また、輸出の引合いも底堅く韓国筋からの引合い価格は4万2000円(FOB)台まで上伸しており、国内市況に横並ぶ格好にある。目先も強含みの市況展開が続くものと見られている。



地球が大切、資源が大切。そして、人が大切。

オオワキメタル

太田工場
太田
恵那工場

大口
大脇金属

OWAKI GROUP

株式会社大脇商店
本社/TEL 0583-84-0340(代)
太田工場/TEL 0574-26-3215(代)
恵那工場/TEL 0573-20-0366(代)

大脇金属株式会社
大口工場/TEL 0587-95-6800(代)
オオワキ株式会社
TEL 0574-25-8353(代)

0120-83-0340

鉄骨建屋・自動車・プラント等解体物・甲山・新断・ダライコ・
18・8・13クロム・非鉄金属・アルミ(白黒・鉄付)